

筑波会議 2021 にて「地球上いつでも倒れても安全・安心な社会の構築を目指して」オンラインセッションを開催

国際医療センター

9月28日（火）、筑波会議 2021 において採択された当センター企画のセッションをウェビナー開催いたしました。

当該セッションは、「地球上いつでも倒れても安全・安心な社会の構築を目指して」のタイトルで、救急医療分野で活躍する日本、タイ、台湾の若手リーダーとオンラインでつなぎ、傷病者を運ぶフロー等、各国での様々な経験について共有いただきました。

その後、自国の経験を他国ではどのように活かせるか、また、イノベーションを取り入れるための課題について話し合い、本分野における将来のリーダーへのメッセージを発表いただきました。

救急医療におけるイノベーションの導入は救命率の向上や病衣期の後遺症の軽減に効果的であると期待されます。一方、このようなイノベーションの導入には、行政や地域住民など、救急医療に関わるすべてのセクターとの連携が必要です。また、開発費や維持費の確保、イノベーションを活用できる人材の育成など、乗り越えなければならない課題も多くあります。特にニューノーマル時代のイノベーションの導入を巡っては、共通の課題が多くあります。これらの問題を解

決するためには、他の国と協力して知恵を出し合い、その経験や技術をグローバルに活用することが重要です。



永田学長からの代表者挨拶

Achieving Universal Access to Emergency Care through Innovation	
10:30-10:35	Introduction by Dr. Keibun Liu, MD., Ph.D.
10:35-11:15	Presentation by panelists
• 10:35-10:45	Yuchun Chien, Ministry of the Interior R.O.C., Taiwan <i>"Backing up EMS by Numbers during unprecedented pandemic"</i>
• 10:45-10:55	Korakot Apiratwarakul, MD, Khon Kaen University, Thailand <i>"Access To Emergency Care Through Innovation in Thailand"</i>
• 10:55-11:05	Sonoo Tomohiro, MD, CEO, TXP Medical Co. Ltd., Japan <i>"Our challenge to Connect prehospital data with in-hospital data using AI assisted EMS apps"</i>
• 11:05-11:15	Suzuki Takaaki, MD, University of Tsukuba Hospital, Japan <i>"Innovative ideas crossing the sea to Save Lives against COVID-19"</i>
11:15-11:40	Panel discussion
11:40-11:55	Open discussion
11:55-12:00	Concluding remarks by Dr. Keibun Liu, MD., Ph.D.

タイムテーブル